

English Translation (partially)Japanese Utility Model Application No. 53-087582(JP 55-007132 U)

1. TITLE OF THE UTILITY MODEL

Thin Type Open Reel Case

2. CLAIMS

A case for housing an open reel of a sound recording tape, the case having:

a fitting-in part formed in a take-up groove of the reel for preventing damages to the tape and for positioning in mounting the tape, and

a thickness same as a thickness of the open reel so as to occupy smaller space when stored.

3. DETAILED DESCRIPTION OF THE UTILITY MODEL

Fig. 1 shows a situation where a sound recording tape 2 is taken up to an open reel 1, and case halves 3 and 4 are mounted. The case halves 3 and 4 are connected with a pin joint 5, and configured to allow separation into two halves for taking out the open reel 1. A fitting-in part 7 is fitted into a take-up groove 6 of the open reel 1, and is used for positioning as well as for preventing the tape

Japanese Utility Model Application kokai No. 55-7132

Publication Date: January 17, 1980

Japanese Utility Model Application No. 53-087582

Filing Date: June 26, 1978

[1] Title of the Device: Thin type open reel case

[2] Devisor: Takemaro SHIGA

[3] Applicant: Takemaro SHIGA

* * * * *

from being slack and/or damaged. The case halves 3 and 4 are mounted to the open reel 1 by being combined by a projection part 8.

Fig. 2 shows A-A cross-sectional view of the above.

適



実用新案登録願

昭和53年6月26日 適

特許庁長官 熊谷善二 殿

1. 考案の名称 ^{フリガナ} ^{ウスガタ} 薄形オープンリールケース

2. 考案者

^{フリガナ} ^{ヒロウゴ} ^{コウベ} ^{スマ} ^{シオミダイ}
住所(居所) 兵庫県神戸市須磨区汐見台町4丁目1番
12号

^{フリガナ} ^シ ^ガ ^{タケ} ^{マロ}
氏名 志 賀 竹 磨

3. 実用新案登録出願人

郵便番号 654-□□

^{フリガナ} ^{ヒロウゴ} ^{コウベ} ^{スマ} ^{シオミダイ}
住所(居所) 兵庫県神戸市須磨区汐見台町4丁目1番
12号

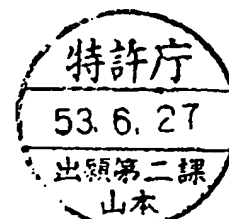
^{フリガナ} ^シ ^ガ ^{タケ} ^{マロ}
氏名 (法人にあっては名称) 志 賀 竹 磨
(及び代表者の氏名)



4. 添付書類の目録

- | | |
|---------------|-----|
| (1) 明細書 | 1 通 |
| (2) 図面 | 1 通 |
| (3) 願書副本 | 1 通 |
| (4) (出願審査請求書) | 1 通 |

方式査 査 (実)



53 087582

55-7132

明 細 書

1. 考案の名称

薄形オープンリールケース

2. 実用新案登録請求の範囲

録音用テープのオープンリールの収納ケースにおいて、リールの巻取溝に嵌り込み部を有し、テープの損傷防止と装着の位置決めとし、ケースの厚みはオープンリールの厚みとし、保存時のケース占有容積を少くしたオープンリールケース。

8. 考案の詳細な説明

録音再生が盛んになり、テープの数が増加して来ると、その保存の容積が増大して来るので、室の空間が少くなる。

この保存時のケース容積を少くし、同一空間で保存しうるケースの数を増加させるオープンリールケースに関する。録音用テープのオープンリールは厚さが12m/m程度であるにもかゝらず、その収納ケースは通常20m/m或はそれ以上である。テープの保存数が増加してくると、テープとテープの間の空間を出来る限り少くすれば、保存数量の増

大を計ることが出来る。収納ケースの最大厚さをオープンリールの最大厚さ $12\text{mm}/\text{m}$ にして、保存数量を増大すると共に、テープの弛み並に損傷を防ぐためにリールの巻取溝に嵌り込み部を設け、装着の位置決めとさせた。

図により本案の薄形オープンリールケースを説明する。

第1図はオープンリールに装着したケースの平面図

第2図はオープンリールに装置したケースの断面図を示す。

第1図は、オープンリール1に録音テープ2が巻取られ、ケース8及び4が装置された状況を示しているが、ケース8及び4はピンジョイント5で連結され、2つ割にしてオープンリール1を取出せる構造であり、オープンリール1の巻取溝6に嵌り込み部7が嵌り込み、位置決めとなると共に、テープ2の弛み並に損傷を防止している。ケース8及び4は突起部8により給合することにより、オープンリール1にケースが装着させられる。

第 2 図はその A-A 断面図を示している。オープンリール 1 の巻取溝 6 にはテープ 2 が巻取られている。このテープ 2 の外周部には溝の空間が残っているので、この溝に嵌り込む部分 7 を嵌め込み、これによつてケース 8 及び 4 はテープ 2 の損傷並に弛みを防止することが出来る。

このようにして、録音再生用テープのオープンリールの収納ケースにおいて、リールの巻取溝に嵌り込み部を有し、テープの損傷防止と装着の位置決めとし、ケースの厚みはオープンリールの厚みとし、保存時のケース占有容積を少くしたオープンリールケースであるから、個人のテープ保存量の増大とともに生ずる保存空間の過大化問題の解決には、欠かすことの出来ないケースであり、同一空間におけるテープの保存量の増大に寄与するものである。

4. 図面の簡単な説明

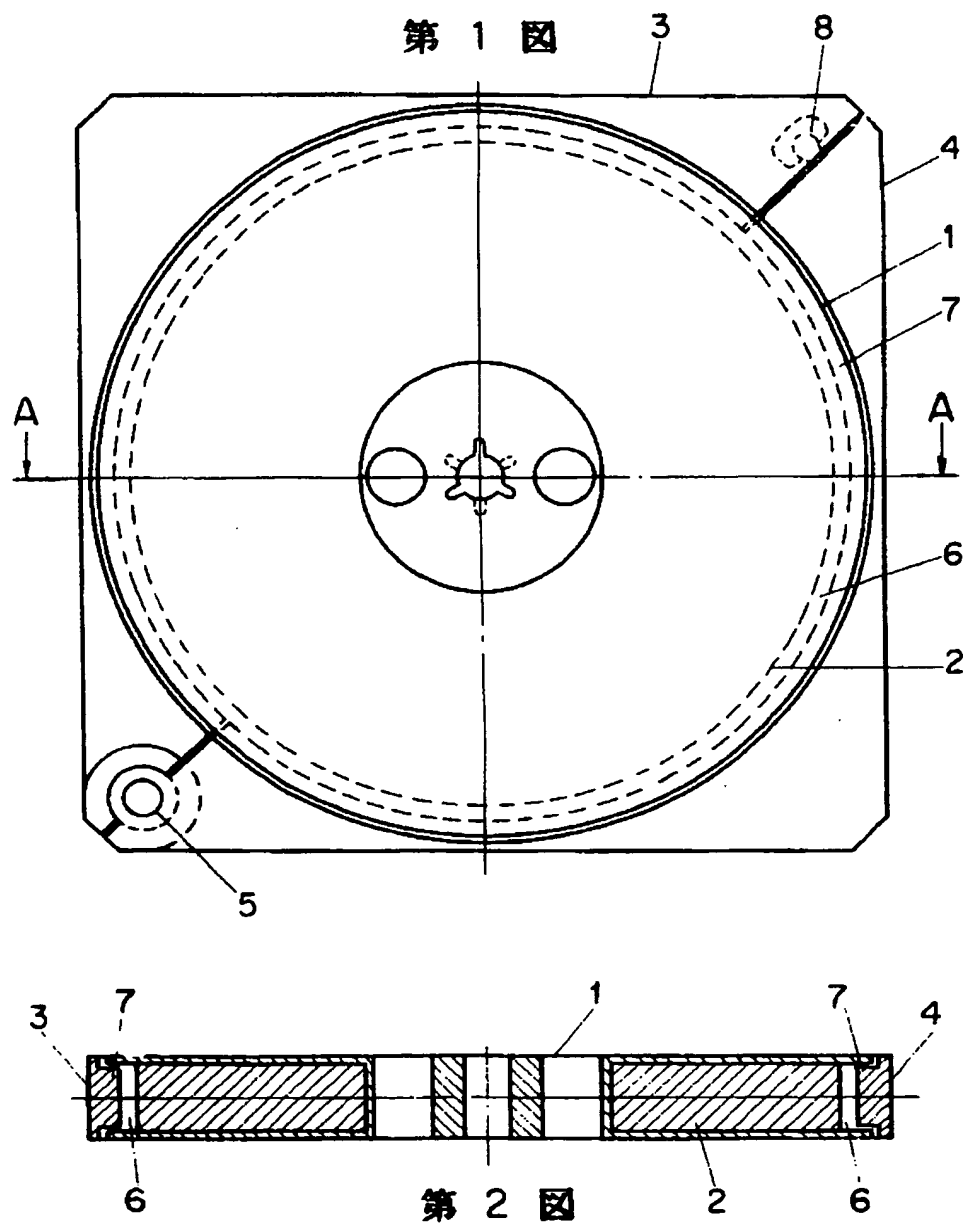
第 1 図 オープンリールに装着したケースの平面図

第 2 図 オープンリールに装着したケースの断面図

1. オープンリール

2. 録音テープ
3. ケース
4. ケース
5. ピンジョイント
6. 巻取溝
7. 嵌り込み部
8. 突起部





實用新案登録出願人 志賀 竹麿

7132